概要版

令和５年度池田町教育委員会教育行政執行方針

Ⅰ　はじめに

○　今日の社会は、グローバル化や情報化の進展、新型コロナウイルス感染症の終息が見通せないなど、先行きが不透明なあり様

○　予測困難な時代にあって、学校教育の場では、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手として成長していくための資質・能力を育む

Ⅱ　教育行政に臨む基本姿勢

○　新たな教育環境において、「学びに向かう力・人間性等の涵養」、「生きて働く知識・技能の習得」、「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成」の３つの観点を基本に学校教育活動を推進

○　教育環境に関する議論の活性化を図りながら、よりよい学校教育を通してよりよい地域社会を創るという理念を町民と共有し、連携・協働し子どもたちの育ちを支える

Ⅲ　重点政策の展開

１　主体的・対話的で深い学びの実現

○　全国調査の結果から、学力等は総じて改善傾向、この状況をさらに向上

○　「個別最適な学び」と「協働的な学び」を組み合わせ、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう態度を育成

①一人一台端末の効果的な活用による授業改善、学習時間の確保など生活リズム改善に向けた家庭への啓発

②町独自の学級編制、中学校の習熟度別指導の実施

③教育的支援が必要な子どもたちの学校段階間の切れ目のない指導・支援、教育的支援を必要とする児童生徒に対して今後の適切な支援のあり方について関係部局と協議

④幼保・小の「スタートカリキュラム」への共通理解促進

２　豊かな心・人間性の涵養と健やかな体の育成

○　規範意識を身に付け、自己実現を図るとともに、基盤となる健康・体力を育成

①規範意識や協調性などを育む道徳教育の充実

②稲作体験や自然環境学習等のふるさと学習

③「池田町いじめ防止基本方針」に基づく組織体制等の充実、教育相談員やスクールカウンセラーの活用

④体力等の向上を図る授業改善

⑤フッ化物洗口の未実施児童保護者への啓発
⑥地場産物を活用した安全・安心な学校給食の実施、食物アレルギー対策
⑦栄養教諭による食育指導

３　学びを支える教育環境づくり

○　家庭や地域と連携した取組の推進とともに、安全・安心な環境の維持管理
①「コミュニティ・スクール」の充実
②学校統合に伴う加配教員２人の継続要望
③「学校における働き方改革池田町アクションプラン」の検証・改善、ストレスチェックの全員参加
④学校部活動の地域移行の検討
⑤学校における感染症対策
⑥学校施設設備の改修（小学校給排水設備など）

４　文化・芸術活動の推進

○　生活の豊かさやふるさとへの愛着・誇りを育む
①田園ホール施設設備の計画的整備の着手
②郷土資料館の特別展の企画や展示方法の工夫、ＧＷ期間中の開館
③音楽・演劇等の芸術鑑賞事業の実施

５　青少年健全育成事業の推進

○　創造性や協調性などを身に付け、ふるさとを愛する心を持った健やかな成長
①体験・交流の場である「わんぱく体験塾」、「通学合宿」の実施、「放課後子ども教室」や「学び塾」の実施
②対象学年を拡充する沖縄県読谷村への「小学生道外派遣研修事業」の実施
③「読谷村からの小学生受入れ交流事業」の検討

６　スポーツ活動の充実

○　健康の保持・体力の向上、スポーツに親しむ環境づくり
①「ペタンク」など４つの地域対抗スポーツ大会の開催
②小・中学校でのカーリング授業の実施
③学校プール活用による水に親しむ機会の提供、水泳教室の実施
④スポーツ振興くじ助成金を活用する総合体育館トレーニング室の機器更新
⑤新たな「池田町スポーツ施設の整備等計画」の策定

７　生涯にわたる学習機会の確保・充実

○　生涯を通じ学ぼうとする意欲に応える環境づくり
①利用者の意見を活かした図書館運営、円滑な蔵書管理・貸出業務等による読書活動の推進

②「遊ゆう大学」在校生の意見等を参考とした授業内容の工夫、入学者増に向けた検討

Ⅳ　むすび

○　義務教育終了時１５歳の子ども像を保護者の皆様をはじめ、地域の方々と共有し、小学校及び中学校という枠組みから、もう一歩、二歩前進させる教育政策を推進

○　「小中一貫教育の導入・推進及び義務教育学校設置の基本方針」を策定し、池田町の新たな教育スタイルの確立を目指す